令和４年　網走市議会

総　務　経　済　委　員　会　会　議　録

令和４年７月 29 日（金曜日）

○日時　令和４年７月29日　10時00分開会

○場所　議場

○議件

１．行政視察について

○出席委員（７名）

委　員　長	小田部　照
副 委 員 長	山　田　庫司郎
委　　員	栗　田　政　男
	立　崎　聡　一
	永　本　浩　子
	平　賀　貴　幸
	村　椿　敏　章

○欠席委員（１名）　古　田　純　也

○議　　長　井　戸　達　也

○委員外議員（０名）

○傍聴議員（０名）

○事務局職員

事 務 局 長	林　　幸　一
次　　長	石　井　公　晶
総 務 議 事 係	山　口　　諒

午前10時00分開会

○小田部照委員長　おはようございます。

ただいまから、総務経済委員会を開会いたします。

今回の委員会では、行政視察について協議いたします。

６月16日木曜日の当委員会において、10月に実施することで決定させていただきました。本日の委員会では、視察項目、視察先などについて協議いたします。ＬＩＮＥＷＯＲＫＳで一度案を出していただきましたが、改めて御発言していただきたいと思います。

なお、本日の委員会は、古田委員より欠席の申出が出ております。

それでは、各委員へ案のほう、発言よろしくお願いいたします。

○栗田政男委員　何年かぶりっていうか、しばらく間が空いた委員会の視察なんですが、いろいろな感染状況等を見ると、だんだんと厳しくなっているのかなという気がしますが、国のほうでも行動制限はかけないということなので、経済活性化の意味からも、ぜひとも実施をする方向で進めていただきたいと思っていますが、案の中で沖縄県が視察対象になっていたのですが、何分にも沖縄どうしても一番最初に感染拡大が爆発してしまうような傾向がありまして、そういう中ではなかなかこちらからは頼みづらいのかなと思います。当市においては、糸満市と友好都市を結んでいるわけで、糸満市の市長も、ぜひとも市議会の皆さん10月だったらいらっしゃってくださいというふうに、ありがたいお言葉を頂いたのですが、そういう状況が状況ですから。たまたま糸満市では、大型のホテルが開業しました。そのホテルの開業等は、当市においても、非常に参考になる誘致事業ではないかなと思うんで、それも含めて見さしていただきたいなと思っていたんですが、それは、後の機会に回すとして、ちょっと厳しいのかなという気がします。

また大阪も増えてはいますが、制限等はかかりづらい、大阪に限らず大阪の町なかでなくても、神戸とかその周辺に、いろいろな大都市がありますから、そういうところを確認しながらいろいろな案の中で、私のほうでもＵＳＪとかっていうのも面白いかなと、真面目な意味で考えてはいたんですが、時期が時期だけに、それは無視してもらって結構です。

通常３泊４日ですから、そうなると移動は新幹線を使うとどこにでも本州は行けますから、飛行機も当然可能ですので、厚木市なんかもしばらくお邪魔してないですし、また、山形の天童市なんかもぜひとも行っていろいろとこの機会に見てみたいところもいっぱいありますし、できるならば友好都市のほうが頼みやすいのかなという、視察対象としてはね。そんなことをお聞きしていますので、そういうことも含めながら、ここはやっぱり日にちだけを決めていただいて、あとは正副に一任をして進めてい

ただくと。場合によっては中止という、英断をしなくてはいけない時期も来ると思いますが、なるべく行く方向で希望したいと思います。

以上です。

○小田部照委員長　ありがとうございます。ほかの委員いかがでしょうか。

○永本浩子委員　私のほうから視察先の候補として挙げさせていただいたのが、札幌市の民間企業ですけれども株式会社日本防災技術センターということで、これ道議会議員の方が視察に行ったのがフェイスブックに上がっていまして、こういうゴーグルをつけることによって、本当に目の前に火災現場が再現されたりとか、煙の下をはって歩くとかっていうような、大変リアルな防災体験ができるということで、ゴーグルのようなものが大体30万ぐらいするみたいなんですけれども、結構ここを視察して、いろいろな自治体とか消防とかが新しい防災訓練に活用したいということで、そこから購入したりとかっていうことも多いようで。そしてまた消火体験もできたり、国際的にもかなり交流をしながらこの防災に関する事業を進めているということでお聞きしていたので、たまに一旦札幌で視察をしてから本州のほうにというコースもいいかなと思って私としては挙げさせていただきました。

自分が挙げたのはこの１つなんですけれども、平賀さんが挙げた兵庫県明石市の人口減少対策ということで、私もこれ何年か前にちょっと調べたことがありまして、本当にいろいろな角度で子育て支援、かなり力を入れていまして、現実に近隣から明石市に若い人たちがかなり移住してきているっていうことで、多分財政的にも、かなりうちとは違って大きい財政を使ってやっているようなんですけれども、でもいろいろな工夫している政策が多いと思うところなので、私も、できればここは行ってみたいなと思っております。

あと、恵那市に関しても、いよいよ今年度から当市といたしましても地域電力会社がスタートするということで、１年前から恵那市のほうが取り組んでいますので、そういった意味でも、視察させていただければ、今後の網走市の取組に対しても、勉強になるのではないかなと思っております。

○小田部照委員長　ありがとうございます。ほかの委員いかがでしょうか。

○平賀貴幸委員　私からも３市について挙げさせていただきました。

今、永本委員からも触れていただきましたが、まず兵庫県明石市ですけれども、今銃撃をするってことで脅されて大変な状況にありますけれども、確実に二度ですね、泉房穂市長から直接、御講演いただいたこともあって、結構やっていることはよく知ってはいるんですけれども、さらにいろいろと進んでいったのと、やっぱり限られた時間で講演で伺うということよりも実際に現地に行ってですね、財源をどうやってつくり出して最初に始めたのかってところが、一番のポイントになってくると思っているものですから、そのことをぜひ伺いながら直接明石市長もできるだけ説明をしたいということでおっしゃっていましたので、いいのかなというふうに思いました。

愛知県の恵那市については、今、同じく永本委員からあったとおり、先に恵那市のほうで事業が始まっていますので、どんな進捗状況でどんな考え方でやっているのか知るのと、あと日本ガイシが近くに本社がありますので、併せて日本ガイシさんにも伺って、どのような考え方で網走市でこれから進めていくのか、さらに将来についてどうつながるのかってことを所管委員会が知っておくのもいいことじゃないかなというふうに思いましたので挙げさせていただきました。

もう１点は、石川県の何ていうのでしたっけこれ、読み方を忘れちゃった。羽咋市だ。すみません、自分で挙げておきながらあれですけれども、羽咋市です。地方創生事業で、企業支援をやっているところが幾つかあるんですけれども、ここもうまくやっているところで、挙げさせていただきました。

何でそれを挙げたかというと、人口減少が今どこでも大変な状況なんですけれども、産業の多様性が維持されているところは、人口減少を何とか食い止めながらやっていけるというところが最新の研究のデータで出てきています。そうすると農業や漁業がしっかりする網走市は実は有利な場所なんですけれども、いかんせんその産業多様性をつくるっていう部分では、人口減少があまりにも進み過ぎていて、なかなか厳しくなっていると。どうするのかなということを調べていくと、事業所が多い町が人口減少にあらがっていくということもわかりました。つまり企業が多くなればなるほど、人口減少については、対抗していけるということなので、そういったことを地方創生の中で戦略的にやっている町がありましたので、そこがいいのかなあというふうに、一

つ上げさせていただきました。

あとはですね、ほかにここに挙げてないところを申し上げるとすれば、大阪の泉佐野市がいいのかなと一つ思います。ふるさと納税を先駆的にいろいろ闘いながら国とやってきた町で、なかなか網走では実現しないですけれども、「さのちょく」といって「さとふる」だとか、「ふるぽ」だとかそういうサイトを通さずに自力でやる取組もやっていますし、新しいふるさと納税の商品づくり自体を、ふるさと納税を頂いて進めるという、いい循環サイクルをつくっている町でもありますので、空港からも隣接している町なので、行きやすいってこともあってそこもいいのかなあと思いました。

あと同じくふるさと納税だと山形県天童市なんかは、トップスリーぐらいに閲覧数が上がってくる町なんですよね。姉妹都市、友好都市なので、そういったところも一ついいのかなというふうに思ったところです。

以上です。

○小田部照委員長　ありがとうございます。ほかの委員、大丈夫ですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、各委員からそれぞれ案を頂きましたが、コロナの関係、状況を見ながら判断していくこととなりますが、まず取りあえず10月のどこの週でいくかを決めたいと思います。文教民生委員会のほうが、10月３日の週でもう決まっております。その他、公務の関係もありますので、10月17日の週で、どこかで３泊４日、あるいは２泊３日、調整しながら、この17日の週で決めていきたいと思いますが、そういった方向で皆さんよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、そのように取り扱わせていただきます。

あと、コロナの状況も全国的に感染が急拡大している状況ですので、状況を見て場合によっては、中止、または変更も併せて、どのようになるかは誰にも想定のつかないところでありますが、そういったことも踏まえて、正副一任ということ形で取り扱わせていただきたいのですが、皆さん、それでよろしかったでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ありがとうございます。それでは、そのように取り扱わせていただきます。

その他、何か御意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それではこれで総務経済委員会を終了いたします。

お疲れさまでした。

午前10時11分閉会